

能登のお宝活用プロジェクト

認定 NPO 法人しみん基金・こうべ

1 , 事業の目的

奥能登は地震のあとの大震によって二十被災となった。復興が遅々として進んでいない現状に、30年前の被災地の市民として支援したいとは思っている人は多い。ただ、実際に現地に出向き支援することができる人は限られる。現在当基金が実施している、珠洲市に入っている支援団体と連携した輪島塗器のボランティアによる洗浄・販売事業は、現地に行くことなく被災地の支援に協力することができる。また販売は複数の団体の協力、および神戸市の協力を得ており、その売上は、連携団体を通じ、珠洲市の町内会に寄付されることにより、珠洲市のコミュニティ活動の維持・継続支援につなげることができる。

洗浄会



2 , 活動内容

洗浄会

5月14日 KIITO:300にて参加者7名

ボランティアによる漆器洗浄並びに現地支援も行うスタッフによる被災地現状報告

販売(1/13現在)

販売総額 301,800円

神戸まつりブース出展



【他団体協力】

KIITO内常設ショップ(~7月 KIITO協力)

須磨いるサロン常設販売(~9月西須磨だんらん協力)

4/5 NPO法人花たばが水道筋のイベント販売、

5/18 神戸まつりブース出展(神戸市協力)

7/26・27 みなとまつりブース出展(神戸JC協力)

【当基金主催イベント時販売】

顕彰事業プラッシュアップワーク(6月) 公開審査会(11月) あいウォーク(1月)

アップサイクル検討

お椀やお皿は売れるものの現代の生活様式に合わないお膳が売れ残っているためアップサイクルを検討している。

10月 トランクデザインさん(垂水区)と打ち合わせ

トランクデザインさんがお膳から作ったブローチをイベントでテスト販売。好評につきピアスやブローチ等のアクセサリーにアップサイクルする方向で、KIITOにも協力を仰ぎながら検討中。

3 , 成果と課題

複数の団体・組織の協力を得ながら販売し、寄付を行うことができた。売れ残るお膳のアップサイクルは今後の課題である。

4 , 今後の展望

お膳も捨てずにアップサイクルし、引き続き息の長い支援を継続したい。